

岡田公民館 作品展示会

2月5日～7日

岡田公民館では例年「新春サークル発表会」を行ってきましたが、昨年はコロナ禍の為中止となりました。今年は感染対策を整え、作品の展示会のみ開催しました。各サークルの日々の努力やお楽しみの成果を地区の皆さんに見ていただくことができました。6日の市民タイム様にも掲載いただいた事もあり、観覧者は少人数ずつでしたが切れ目なく訪れ、それぞれの作品や活動状況を観覧していました。(取材 三枝委員)



三水会 そば打ちの会



にこにこあいさつ
なかよしおがだ



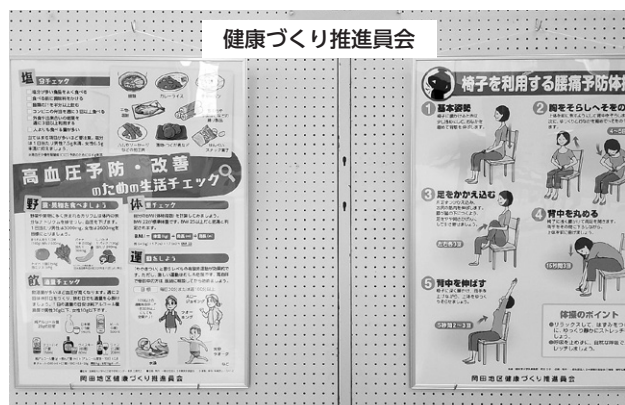
クリスタル手工芸会



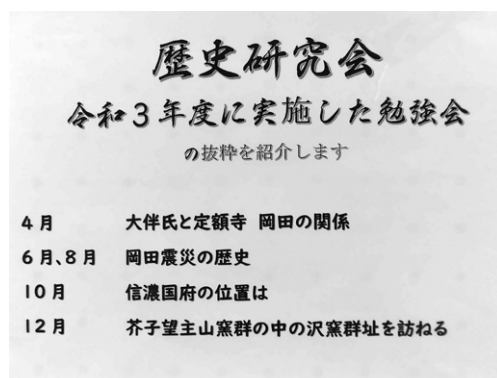
岡田写真会



木工教室



岡田地区福祉ひろば



岡田パソコン同好会

こんな活動しています

◎ リモート勉強会
Line を使って、みんなで自宅でパソコンで
こんにちは!

Line アプリはスマホだけではなく、
スマホ (iPhone)
タブレット (iPad)
パソコン (Windows)
どれでも OK です。

週一回、木曜日にリモートで集
みましょう

(参加希望の方岡田公民館に
お問い合わせください)



日本スポーツウェルネス吹矢協会岡田支部

岡田ぼとニュース

善光寺に繋がる

刈谷原峠

●伊深●

公民館行事「民話の里をたずねるウォーキング」に参加しました。言い伝えのある石碑、石仏、民話がたくさんあることに驚き勉強になりました。

①伊深公民館 (集合)

②薬師堂

延享元年に建てられ旧慶弘寺の手観音が安置されている。

③稚児池の碑 (謂れ)

「旅の途中、倒れた母親の介抱をしている娘の夢枕に立った権現から『近くの泉に立つて拝み唱えよ』と告げられた。翌朝娘はその通りに祈ってみると、泉から葉や食べ物が湧き出て来た。母親はすっかり元気になり、娘と共に善光寺へと旅立った。」

その後この泉は「稚児池」と言われるようになった。

④問屋原の道標

⑤分岐点

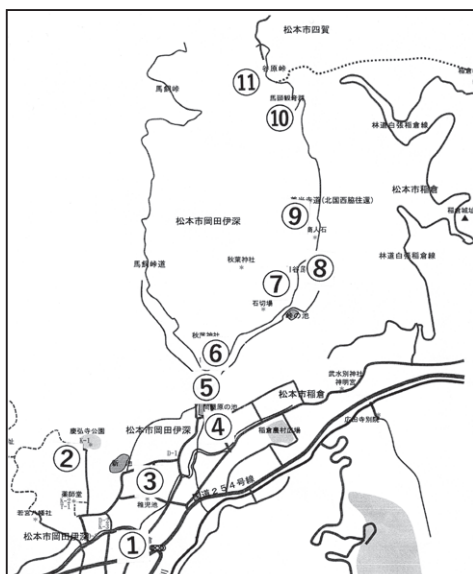
⑥左は馬飼峠

⑦天文年間伊深

城主が武田勢に攻められて落城し、戦死者の鎧を葬ったと言われている。

⑧石切場

⑨松本城太鼓門



の大岩は伊深の平地地籍馬飼峠の東山の岩山の物である。この石切場から運ばれた。

⑧峠道

峠道には石仏がとても多いし、石畳の道になっている所もある。

⑨商人石

こぶし位のガラガラした小石の広場。商人が野盗に殺され、その怨念が石に残った物と言われている。

⑩馬頭観音群

21体集合安置。重荷を背負い峠越えした馬の供養の為であろう。昔の旅は命がけ。人も馬も。

⑪刈谷原峠

標高920m 昔は茶屋が3軒あったそう。

⑫四賀村役場まで59km

私は十数年長野市の善光寺さんの近くに住んでいました。その善光寺さんと伊深が、北國西脇往還(善光寺西街道)の峠で繋がっていました。とても感慨深いものがあります。

(伊深 大久保千津子)

スマホ体験講座

2月22日(火) 岡田公民館主催によるスマートフォンの基本的な使い方から日常よく使う機能まで、楽しく分かりやすく学べる講座が開催されました。

初日の第1回目は買う前にわかる!初めてのスマホ体験。講師はソフトバンク(株)認定講師6名、新型コロナもあり、10名募集でしたが応募が多数あり定員を増し20名に増員し実施しました。

1回目の内容・アイフォンとアンドロイドの違い・画面の拡大縮小の仕方・地図を見てみよう・カメラを使ってみよう・文字を入力してみよう(音声入力もできる!)

時代と共に変わり行く携帯電話、スマホは携帯・パソコンを合わせたものの進化が激しく今回講座を受けて「こりやすげー」の声が多く、自分も含め

使いこなすのは大変!最新版は音声で文字入力ができ、大きい指にはもってこいでした。コロナの最中ですが、新しく何か見つけにいきませんか。

(体験取材・文 柳澤委員)



編集雑記

繰り返し訪れる感染症の脅威で頭上を覆われたようなどんよりした気持ちになってから、2年以上経った。岡田公民館ではどうしたら開催出来るか熟慮を重ね、作品展示会を開催した。雲間から少し光が見えた気がした。(S)

最近、小笠原諸島の南硫黄島付近の海中で火山が爆発し噴出した軽石による被害が話題になりました。また1月15日、南太平洋のトンガでも海中火山が大爆発しました。

及びましたが、更に大量の火山灰が浮遊したために起こった気象異変(翌1816年は「夏の無い年」とされている)や農業不振によって、餓死者・病死者数はなんと約8万人に上ったのです。

は広く火山灰に覆われた姿で、復興には多大な困難が予想されます。

実は、こうした火山災害は他

火山灰はこわい

松岡 三宅 康幸

では、巨大な噴火に伴う火山灰はどのようにしてできるのか。マグマは爆発により破碎され、軽石や火山灰の粒子が細かくなつて、火山灰は増えるのです。テレビで観るトンガの情景

し、10cm以上の厚さの地層を作っています。こうした「広域火山灰」の地層の枚数から、およそ1万年に一度の頻度で巨大噴火が起こっている事が分かります。日本国民に係る大きな宿題です。

